

2018年度
マンスリーレポート No. 44

11月5日、医学教育分野別評価の受審に向けたチームKの月曜会議が始まった。毎週、15時に2つの領域の担当者が集まり、情報交換や質疑応答を行う。初回は領域1/7だった。

11月8日～9日、6年生の卒業試験(B)が行われた。今回は同時進行で5年生も受験した(卒試トライアル)。6年生と5年生が同じ試験を受けているが、試験に臨む気持ちが異なり、単純な比較は意味がなく、領域別(出題講座別)での比較を行って、5年生が学年的・個人的に弱点を見つけられるように、形成的評価の材料になればよいと考えた。

11月10日、柏木が5年生の合同学習会の監督を務め、ミニレクチャーを行った。

11月10日～11日、山田と片山が「おきなわクリニカルシミュレーションセンター」主催の「シミュレーション基盤型教育セミナー FunSim」に参加した。

11月12日～15日、山田が「福岡県・江蘇省 日中友好経済促進交流訪問団」に同行した(中国江蘇省揚州・徐州)。

11月12日、教務委員会で三大目標や3つのポリシーの修正案が提出された。主な目的はキーワード「地域」を入れることであり、異論なく承認されたが、卒業時コンピテンスは、医学教育WS案の文言が十分に整理されておらず、継続審議となった(深水と安達が整理)。また、教育Cが提出した「第4学年共用試験不合格者の学習支援」(基礎力強化プログラム)は承認されたが、メディカルアーツの新しい科目名(医の心/仁の心、医道/医道論、医師の道/医師学)は認められず、安陪教務委員長が提案した「行動科学」に決まった。

11月13日、安達と柏木が大石教務課長と一緒に御井学舎の教学IRを見学した。「Factbook」「学生カルテ」(KU-Portal)など、学内データの収集/分析による学生/教員支援や教育改善活動を担う組織として、たいへん参考になった(専属の事務職員は必須と認識)。

11月14日、教授会議で三大目標や3つのポリシーの一部修正案が承認され、患者同意書(包括同意と個別同意)も承認された(複数名が運用上の課題を指摘)。基礎力強化プログラムとメディカルアーツの新しい科目名「行動科学」も異論なく承認された。

11月15日、新カリキュラム臨床実習の出張FD(10月5日開始、26診療科)が終わった。

11月16日、5年生の共用試験CBTが行われた。柏木がサイトマネージャー、山田と安達がブロック監督者を担当した。

11月20日、山田と片山が大学病院の臨床研修医会で研修医にシミュレーション教育とトレセンを説明・案内した。

11月21日、当センターのニュースレター(第30号)を発行した。新しいカリキュラムによる臨床実習、分野別評価の受審、トレセンの案内を掲載した。

11月22日、教育主任会議で4年生の基礎力強化プログラムとPCCE(トレセン)の協力を依頼した。人間健康学部スポーツ医科学科の満園良一教授が健康運動指導士養成課程の授業(5コマ)を依頼に来られたので快諾した。

11月29日、准講会で4年生の基礎力強化プログラムの具体案を説明し、協力を依頼した。山田が「整形外科医のためのインターネットライブセミナー」で「頸部痛・腰痛のアプローチ：高齢者のトータルマネジメントも含めて」を講演した(福岡)。

*クリニカルスキル・トレーニングセンターで開催されたイベントは次のとおり。

11月2日、小児看護学・実習のまとめ(医学部看護学科)

11月6日、看護助手・救急蘇生訓練(病院看護部)

11月6日、災害訓練・学習会(病棟看護師)

11月9日、災害訓練・学習会（病棟看護師）
11月12日、看護助手・救急蘇生訓練（病院看護部）
11月12日、VAD勉強会・シミュレーション（病棟看護師）
11月14日、院内認定看護師（皮膚・排泄ケア）フォローup研修会（認定看護師）
11月15日～16日、看護職員復職研修会（福岡県看護協会）
11月19日～27日、OSCE自己学習（医学部医学科）
11月21日、ストーマケア勉強会（病棟看護師）
11月21日、看護師多重課題トレーニング（病棟看護師）
11月26日、多職種救急蘇生講習（病院看護部）
11月26日、VAD勉強会・シミュレーション（病棟看護師）
11月28日、呼吸リハビリ勉強会（病棟看護師）
11月30日、小児看護学・実習のまとめ（医学部看護学科）
11月30日、災害訓練・学習会（病棟看護師）
11月中の4日間、救急蘇生訓練（病院看護部）

文責：安達洋祐